



梅雨期にふえる
交通事故

梅雨期には交通事故が急にふえます。特に自転車や歩行者の事故が多い。そこで今年は六月一日から十日までを「交通安全運動」の期間として皆さんの協力を求めているわけですが、この期間に限らず、梅雨期には常に次の事を互いに注意しましょう。

① 雨をさけようとして傘を傾けて歩いたり、うつむいて自転車のペダルを踏んでいて、自分から自動車に突き当たってゆくという様な事故が多い。雨具で視界をさえぎらない様注意する事。また学童が雨具の帽子を着ける時は、親が気をつけて視界と視力をさまたげないように着用させること。

② 車を運転する人はスリップに気をつけること。晴れた日に急ブレーキをかけると二メートル停車する車も、雨の日には二十一メートル滑る。このため雨の日は晴れた日の一、五倍〜二倍もの事故が起きています。トッサの場合急停車

できるような安全速度で運転すること、又、車輛の整備、特にウインド・クリナーの点検を励行しましょう。その他、長雨のため路肩が崩れ易くなっているのので、無理な追越しやすれ違いをして、路肩に乗り入れる事は危険です。大型バスやトラックは特に注意が肝心です。

水に親しむ季節……

水難事故
ふえる子供の

六月ともなれば子供達の間では水に係した遊びが多くなります。そして毎年此頃から水死事故が目立つてきます。

昨年県下で水死した子供達は、十五才以下で四一人。年令別にみますと、六才未満が二十五人(そのうち女兒が十二人)で最も多く、次に六才から十二才まで一五人(女兒三人)十二才から十五才までが一人となつています。

原因別にみますと、川端で遊んでいて転落したのが十三人、水遊び中十一人、水泳中十人、魚つり中七人となります。そこでこんな悲しい事故を起さない様に、保護者の方々は次の事柄をよく守つて下さい。

1、近くに川、下水溝、池などがある場合、それがなぜ危険であるかをよく話

してきかせると共に、子供の行先や遊びには十分気を配る事。
2、昨年六月、井戸に墜ちて死んだ二才の子供さんは、友達と一緒に、わざわざ井戸のふたをとり外して中をのぞき込んでいたうちに転落したものです。だから、危い場所には早く適切な事故防止の方法を講じておくことです。なお、そうした場所で遊んでいる子供を見かけたら必ず注意して下さい。

家人が居ても……
アキ巢は侵入してくる

初夏になるとアキ巢ねらいがふえてきます。これはある会社員の家の話ですが夕方七時半頃、家族そろつて茶の間で楽しい夕食中の事です。犯人は裏手にあつた梯子で屋根に上り、二階の雨戸をはずし、カギをかけ忘れてあつたガラス戸をあけて部屋に入つてきたのです。処が皆は茶の間で談笑したり、ラジオを大きくかけたりしていたので、犯人が二階に入つてきたのがわからなかつたわけでした。

この時は現金十三万円を盗まれていました。梯子の始末が悪かつた事と、二階窓のガラス戸のカギを忘れた事、家人が一部屋に集まつていた事など犯人の侵入をた易くした原因です。皆さん十分気を付けて下さい。

RKK
6月の……
県政だより
0845~0900

日	曜	テ	マ	放	送	形	式
3	火	学	校	保	健	法	と
5	木	歯	は	健	康	の	見
7	土	計	量	と	生	活	
10	火	交	通	安	全	旬	間
12	火	梅	雨	時	の	衛	生
14	土	今	年	の	水	防	勢
17	火	農	繁	期	の	村	を
19	火	家	庭	に	お	け	る
21	土	新	農	業	の	危	害
24	土	水	産	業	改	善	グ
26	火	こ	れ	か	ら	の	酪
28	土	伸	び	ゆ	く	郷	土

広報くまもと
116号
昭和33, 6, 1発行
★
発行所 熊本県広報課
熊本市行幸町19
発行編集人 村上清蔵
印刷所 白石印刷出版
熊本市島崎町
電話 ② 6812
昭和32年6月25日
第三種郵便物認可